

令和3年台風第14号に関する 説明会

令和3年9月17日
和歌山地方気象台

これは、9月17日11時00分開催の説明会での資料です。
その時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の
気象情報は、気象台ホームページから確認してください。

台風第14号による影響のポイント

(予報円の中心を通った場合)

① 台風が和歌山県へ接近

台風第14号は瀬戸内海付近を東へ進み、**18日に和歌山県に接近、または上陸する見込みです。**

② 警報級の暴風のおそれ

台風の動向によっては、17日夜遅くから18日朝にかけて**北部の沿岸部を中心に南よりの暴風**となる可能性があります。風の強さや向きは台風の動向により大きく変わることがあります。

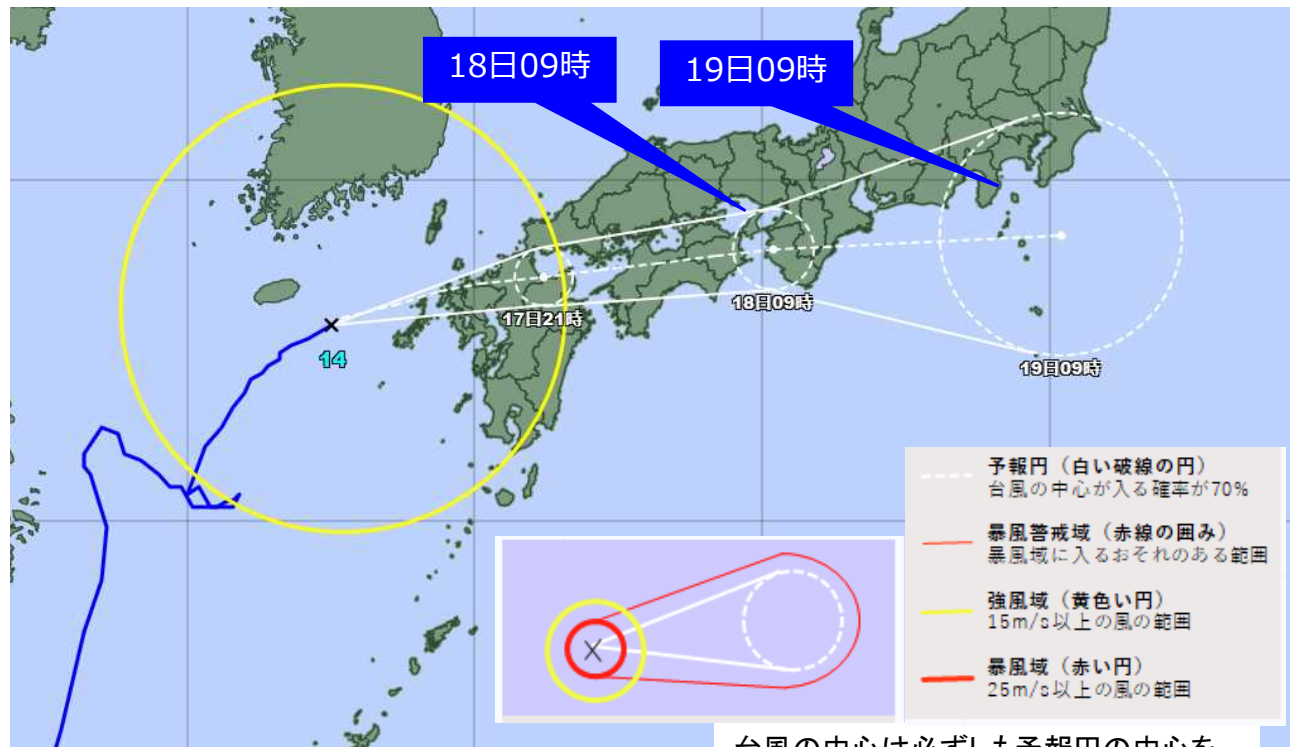
③ 警報級の大雨のおそれ

南部では南東側斜面を中心に17日昼過ぎから激しい雨が降り、夜遅くから18日昼前にかけて和歌山県全域で激しい雨や非常に激しい雨が降る見込みです。台風の動向によっては17日夜遅くから**警報級の大雨となる可能性**があります。

④ 高波、高潮に注意

18日未明から昼過ぎにかけて、南部を中心に海上はしける見込みです。また、18日未明から明け方の満潮時刻を中心に高潮に注意してください。

台風第14号の進路予報 (17日9時)



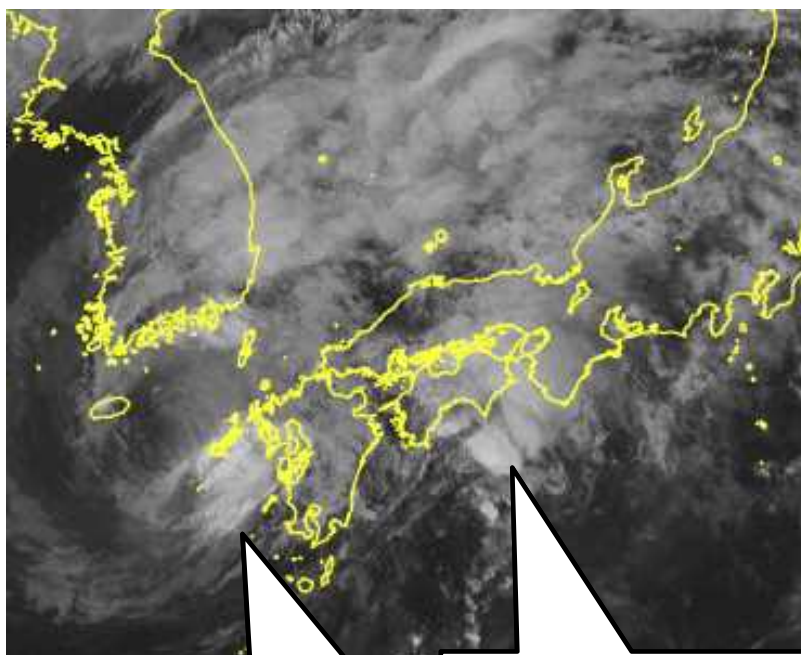
台風を中心は必ずしも予報円の中心を
結ぶ線に沿って進むわけではありません。

台風第14号は速度を上げながら東に進み、
18日に近畿地方に接近、または上陸する見込み。

台風第14号(チャンスー)	
2021年09月17日09時50分発表	
17日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	五島市の西約120km
中心位置	北緯32度55分(32.9度) 東経127度30分(127.5度)
進行方向、速さ	東北東 20km/h(10kt)
中心気圧	990hPa
中心付近の最大風速	25m/s(50kt)
最大瞬間風速	35m/s(70kt)
15m/s以上の強風域	北東側 390km(210NM)
	南西側 330km(180NM)
18日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	和歌山市付近
予報円の中心	北緯34度0分(34.0度) 東経135度10分(135.2度)
進行方向、速さ	東 30km/h(17kt)
中心気圧	996hPa
最大風速	20m/s(40kt)
最大瞬間風速	30m/s(60kt)
予報円の半径	65km(35NM)

(台風情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

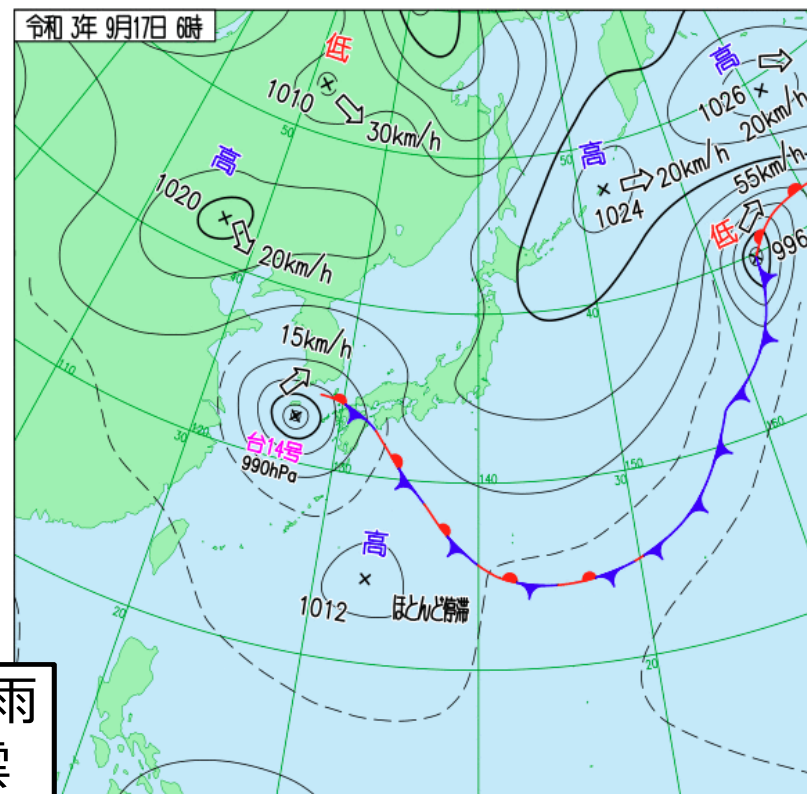
気象衛星画像と地上天気図



台風第14号の
発達した積乱雲

高知県で猛烈な雨
を降らせた雨雲

気象衛星画像（赤外）
(9月17日09時)



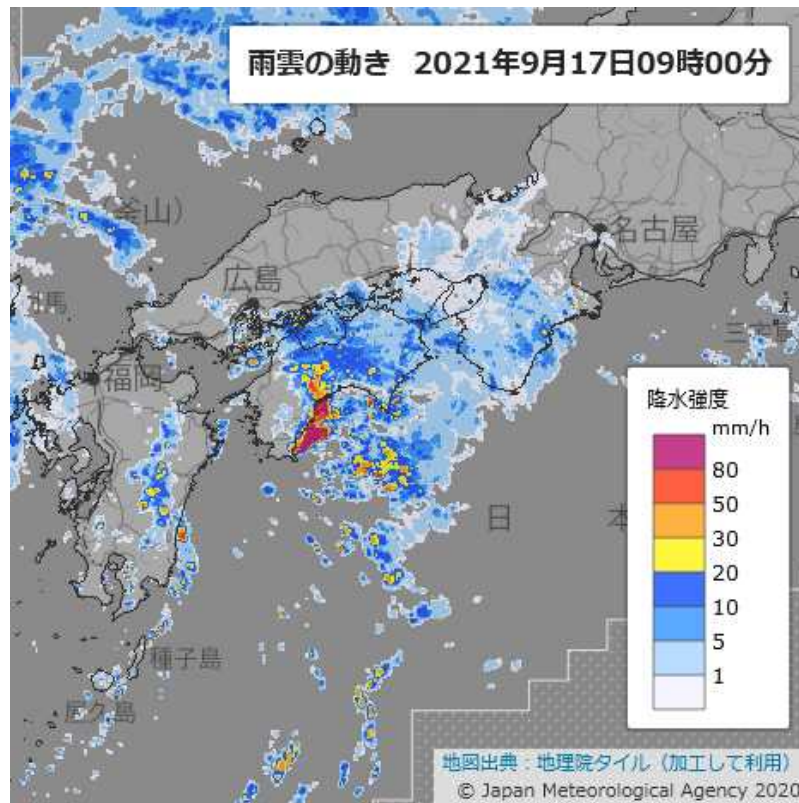
地上天気図（9月17日06時）

今後の予想を含めた最新の気象情報をご利用ください。

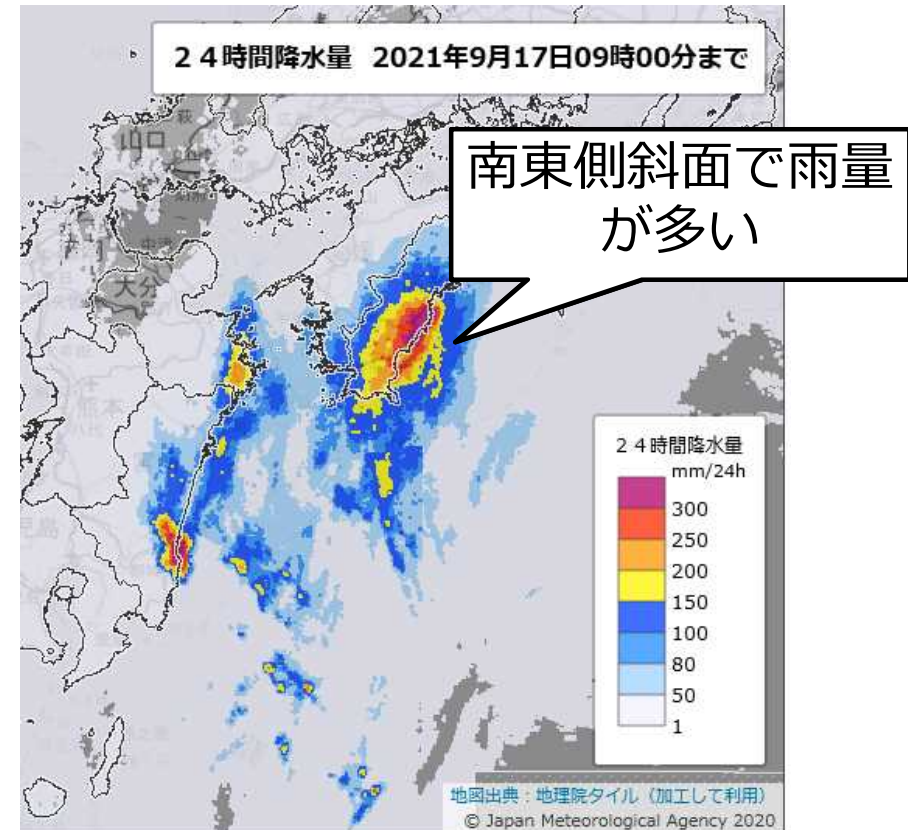
（天気図： https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/ ）

（衛星画像： <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari> ）

雨の実況



高解像度降水ナウキャスト
(9月17日09時)



24時間降水量
(9月17日09時までの24時間)

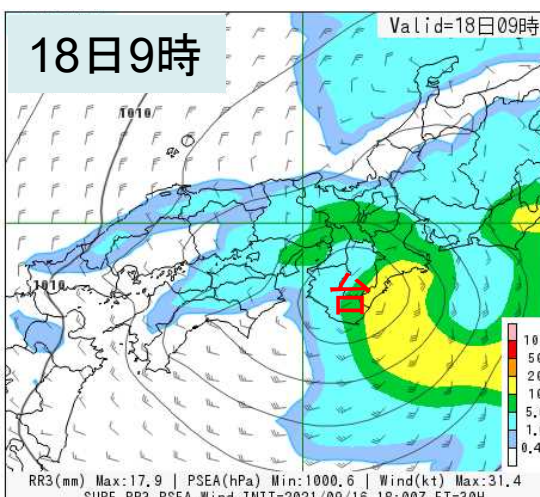
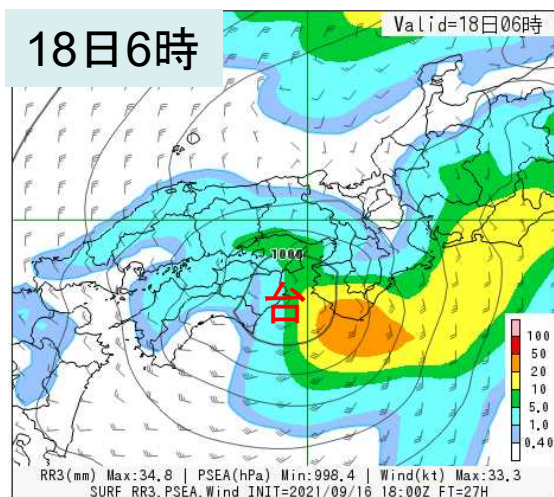
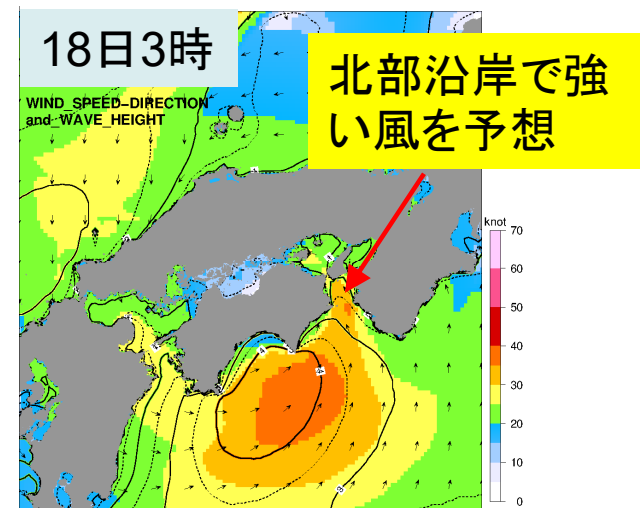
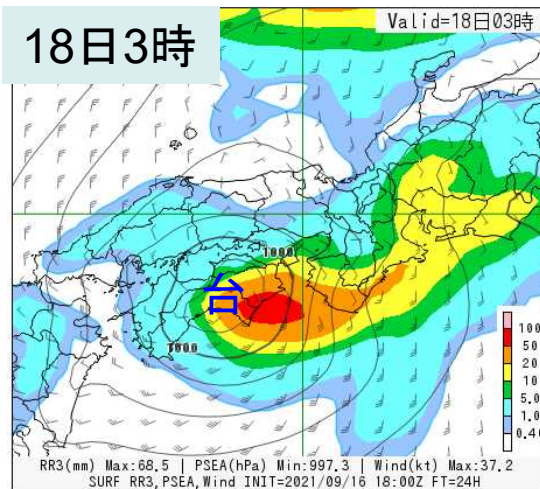
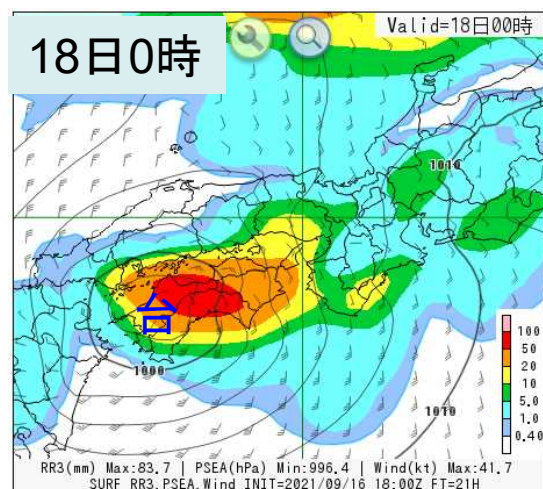
今後の予想を含め、最新の気象情報をご利用ください。

(雨雲の動き: <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>)

(今後の雨: <https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>)

雨と風の予想（分布）

この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります



雨、風ともに台風接近前にピークがある。

台風の流れ込む風により、南部の南東斜面から激しい雨となり、その後、台風本体の雨雲により全域で非常に激しい雨となる。

気圧、風向風速、前3時間降水量

令和3年台風第14号 9月17日09時現在の見通し

			17日							18日							
			3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
台風最接近																	
暴風域等																	
北部	暴風 (メートル)	陸上				12↑	12↑	13↑	18↑	18↑	15↑	15↑	13↑	12↗	12↗	12↓	12↓
		海上				15↑	15↑	18↑	23↑	23↑	20↑	20↑	18↑	15↗	15↗	15↓	15↓
	波浪 (メートル)							3	3	4	4	4	3				
	大雨(浸水) (ミリ)									50	50	30	30				
	大雨(土砂)																
	洪水																
	高潮 (メートル)																
南部	暴風 (メートル)	陸上				12↖	12↖	12↑	15↑	15↑	15↑	15↑	13↑	12↖	12↖	12↓	12↓
		海上				15↖	15↖	15↑	20↑	20↑	20↑	20↑	18↑	15↖	15↖	15↓	15↓
	波浪 (メートル)							3	3	4	4	5	5	4	3	3	3
	大雨(浸水) (ミリ)								50	60	60	50	40				
	大雨(土砂)																
	洪水																
	高潮 (メートル)																

警報級

注意報級

警報級の可能性「中」

予想される24時間降水量(多い所)

	17日12時～18日12時
北部	150ミリ
南部	200ミリ

満潮時刻

検潮所	17日	18日	
和歌山	17:00	3:54	17:25
串本	16:30	3:24	17:02

注意警戒事項

① 暴風に十分注意

- ・ 台風の接近により、北部沿岸部を中心に17日夜遅くから18日朝にかけて南よりの暴風が吹く可能性があります。暴風に十分注意してください。
- ・ 風の強さと向きは台風の動向により大きく変わります。台風が南寄りのコースを通った場合は北部よりも南部で暴風となる可能性が高くなります。暴風に十分注意してください。

② 大雨に十分注意

- ・ 台風本体による雨雲や台風に向かって流れ込む暖かく湿った空気により、17日夜のはじめ頃までは南部の南東側斜面を中心に、17日夜遅くからは和歌山県全域で激しい雨や非常に激しい雨が降る見込みです。
- ・ 17日夜遅くから18日昼前にかけて大雨警報（浸水害・土砂災害）、洪水警報を発表する可能性があります。低い土地の浸水や土砂災害、河川の増水に十分注意してください。

③ 高波、高潮に注意

18日未明から昼過ぎにかけて、南部を中心に海上はしける見込みです。また、18日未明から明け方の満潮時刻を中心に高潮に注意してください。

台風の接近に備えて

- ◆ 気象台が発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、市町村の避難指示等に注意してください。
- ◆ 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、暴風、高波、高潮など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、明るいうちに安全な場所に移動するなど、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- ◆ 屋外での作業や不要な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- ◆ 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）
 - 土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>
 - 浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>
 - 洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>
- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>
- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>
<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

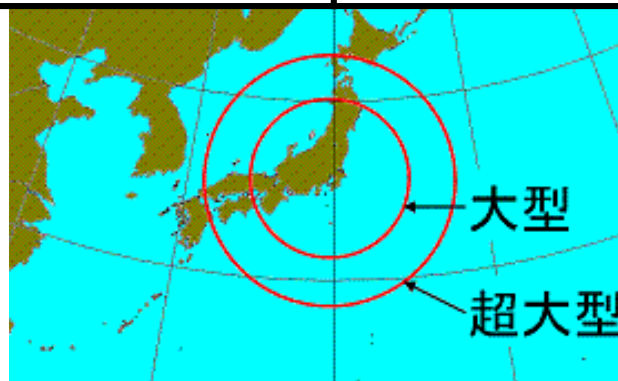
台風の大きさと強さ

■ 強さの階級分け

階級	最大風速(m/s)
強い	33以上～44未満
非常に強い	44以上～54未満
猛烈な	54以上

■ 大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上



暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日							〇〇日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	
		海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10	
			以後も注意報級									

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまってい ないと立っていられ ない。飛来物によっ て負傷するおそれ がある。 	細い木の幹が折れ たり、根の張ってい ない木が倒れ始め る。看板が落下・飛 散する。道路標識が 傾く。 	屋根瓦・屋根葺材が 飛散するものがある 。固定されていない プレハブ小屋が移動 、転倒する。ビニール ハウスのフィルム (被 覆材) が広範囲に破 れる。 	30
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金属 屋根の葺材がめくれ る。養生の不十分な 仮設足場が崩落す る。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが 横転する。 	多くの樹木が倒れる 。電柱や街灯で倒れる ものがある。ブロック 壁で倒壊するもの がある。 	外装材が広範囲にわた って飛散し、下地材が 露出するものがある 。 	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するもの がある。鉄骨構造物で 変形するものがある 。 	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html

風の強さと吹き方

風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						60

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

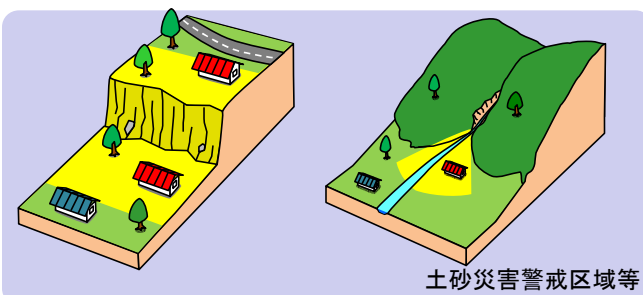
1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかをキキクル（危険度分布）で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

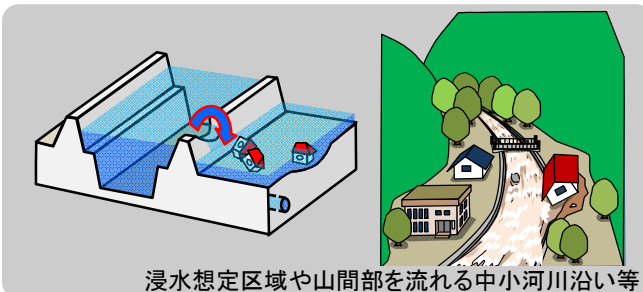
土砂災害



浸水害

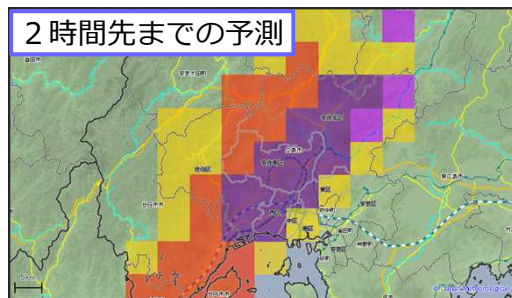


洪水災害

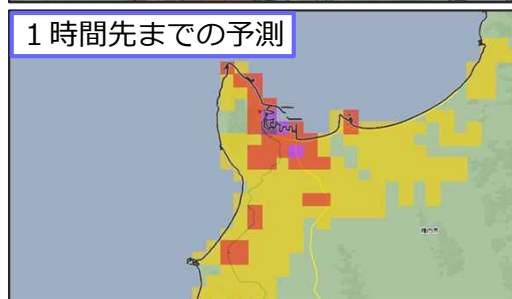


キキクル（危険度分布）

2 時間先までの予測



1 時間先までの予測



3 時間先までの予測

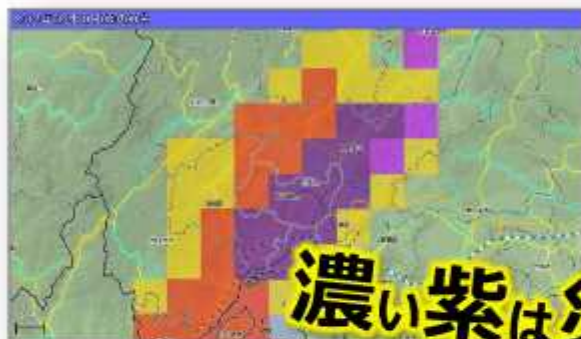


災害の例



キキクル(危険度分布)を活用して早めの避難を

土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



濃い紫は災害がすでに発生しているにもかかわらずおかしくない



「危険度分布」の「**濃い紫**」が出現してからでは、重大な災害が**すでに発生**している可能性が高い極めて危険な状況となることから、できる限り早めの避難を心がけ、遅くとも**薄い紫**が出現した段階で、（洪水害については河川水位などの現況も確認した上で）速やかに避難開始の判断をすることが重要です。

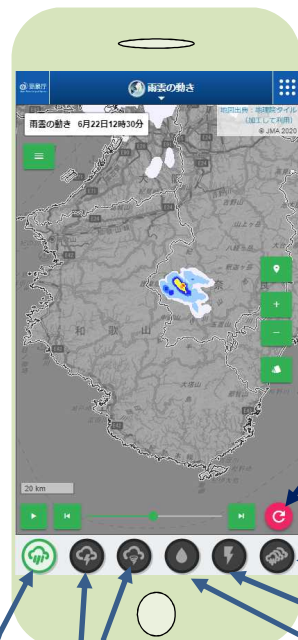
キキクル（危険度分布）の入手方法（インターネット）

気象庁ホームページ ⇒



キキクル（危険度分布）

雨雲の動き



最新情報に更新

線状降水帯

雨雲の動き

雷活動度

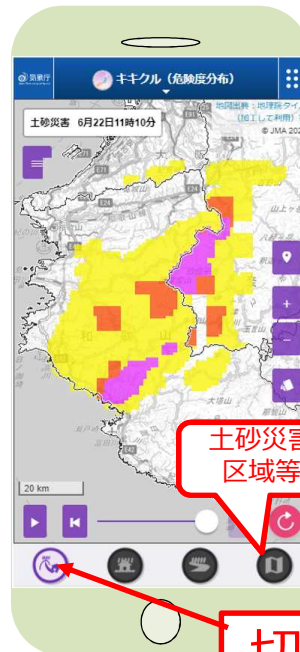
竜巻発生確度

アメダス10分間雨量

雷の状況

3時間前から現在の雨の状況と、1時間先までの予想。5分毎に更新。雷や竜巻発生確度、アメダスの雨量、線状降水帯も表示できます。

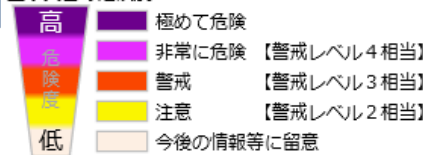
土砂災害



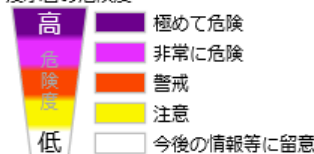
土砂災害警戒区域等表示

切り替え

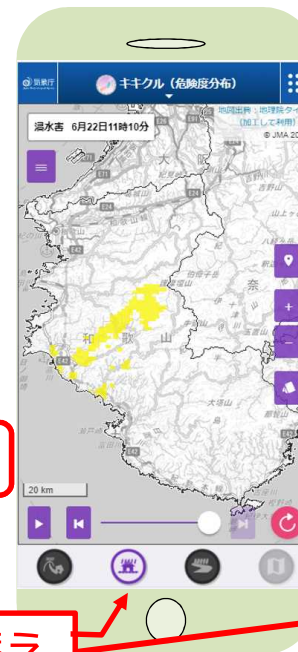
土砂災害の危険度



浸水害の危険度



浸水害



浸水想定区域表示

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水害の危険度



和歌山県のキキクル



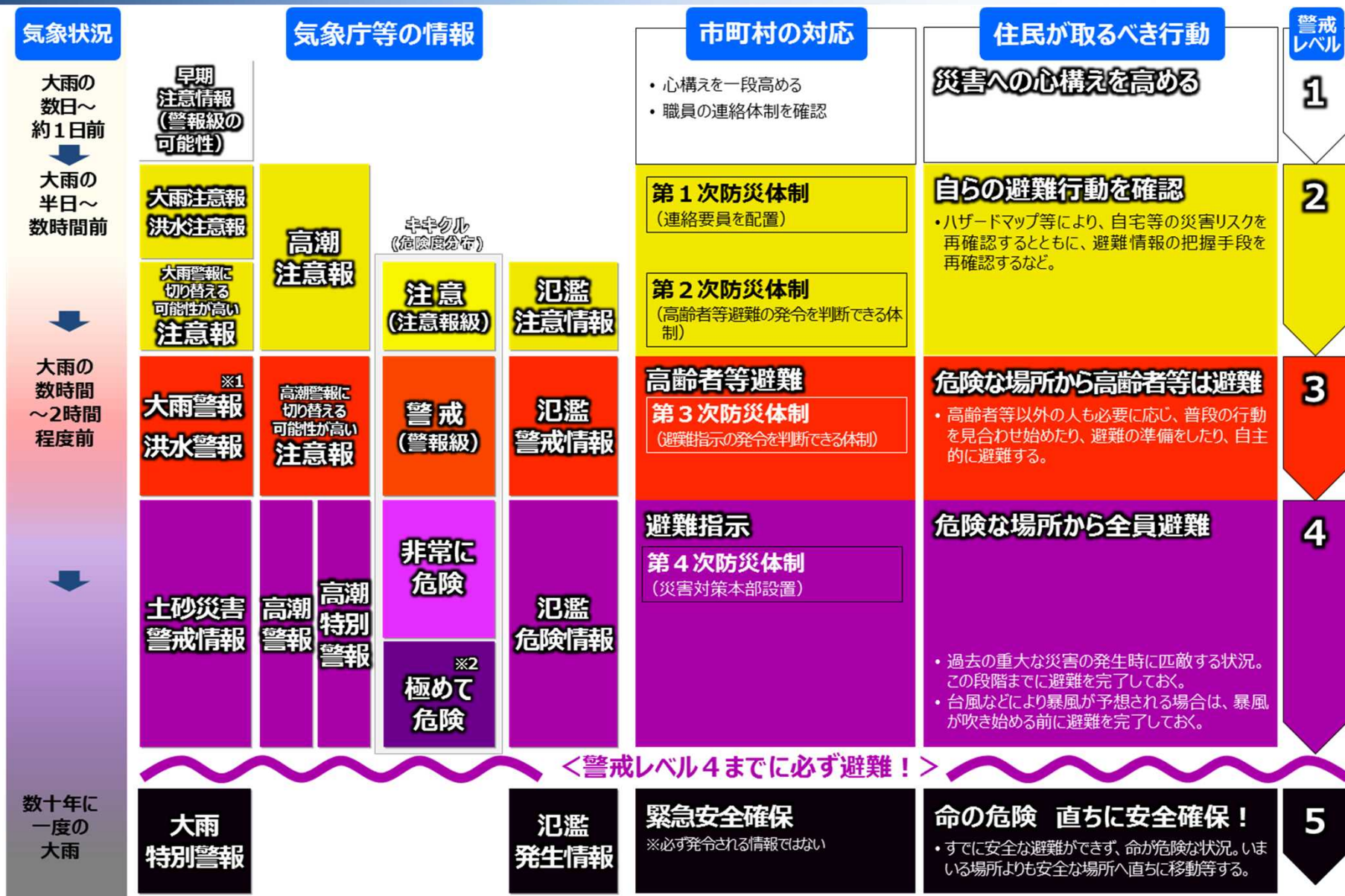
雨の強さと降り方

雨の強さと降り方

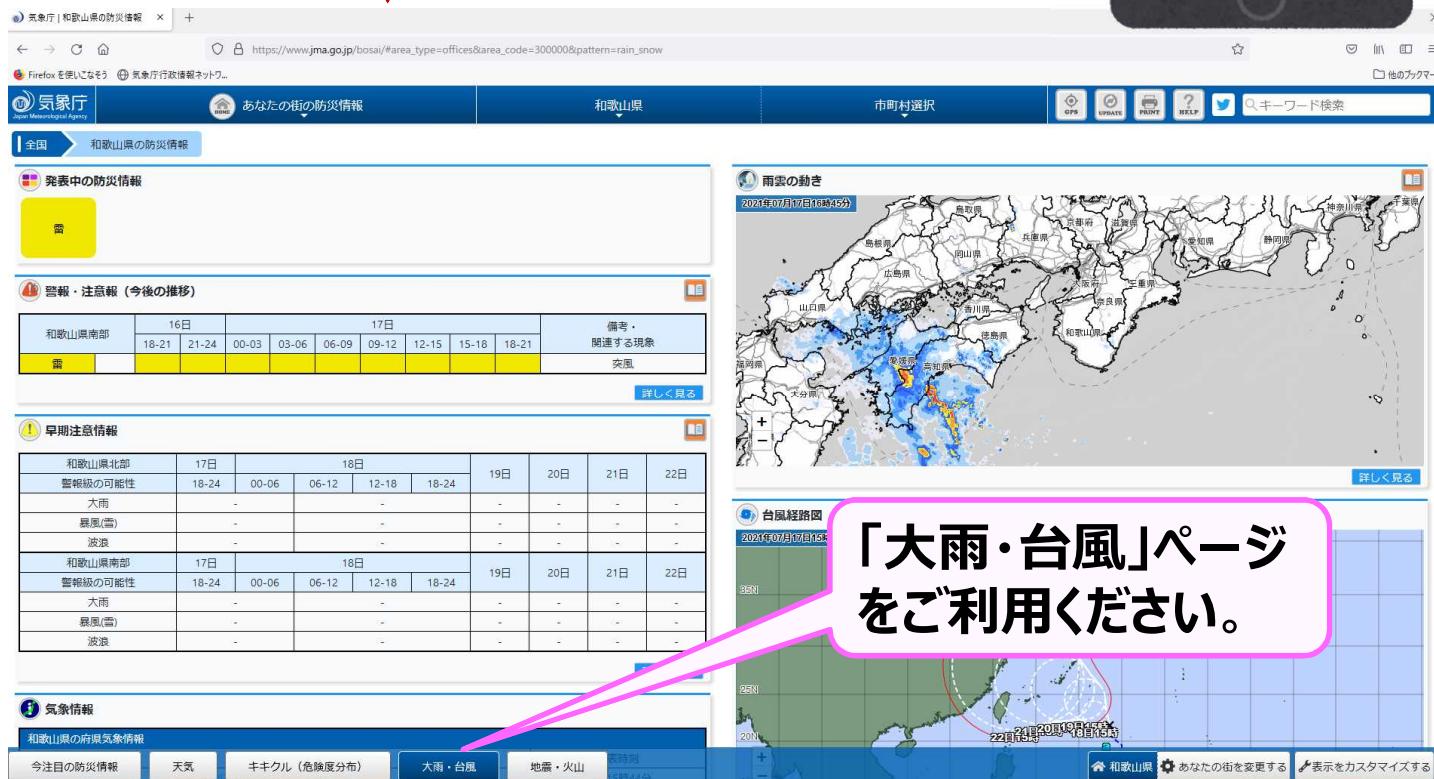
(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

段階的に発表される防災気象情報の活用例



新しくなった気象庁ホームページ



気象台からのコメント

「気象台からのコメント」は「大雨・台風」のページで見ることができます。



気象台からのコメント



2021年04月29日(木)08時30分

【防災気象情報発表の見通し】

《明日までの警報、大雨・洪水注意報について》

・29日は前線を伴った低気圧が和歌山県付近を通過する見込みです。

●大雨

- ・29日夕方にかけて紀中や南部で非常に激しい雨の降るおそれがあります。
- ・紀中、田辺・西牟婁の一部地域に大雨注意報、洪水注意報を発表しています。注意報の期間は29日夜のはじめ頃までです。
- ・雨雲が予想より発達した場合には、紀中や南部に大雨警報や洪水警報を発表する可能性もあります。
- ・「和歌山県気象情報」を発表中です。下記URLを参考に最新の気象情報をご確認ください。

《早期注意情報について》

早期注意情報：和歌山県

◆明日まで◆

北部 [中] (高め)

南部 [中] (高め)

◆明後日以降◆

[中] 以上はありません。

主に専門家のみなさまに向けて、気象台からお知らせしたいことを記述しています。

警報や注意報の発表見込みや、今日注目すべきコンテンツ等…

更新は05時頃、11時頃、17時頃を基本とし、状況が変わり次第随時更新します。

	背景色
特記事項なし	白色
大雨・洪水・大雪注意報発表時（まもなく発表時）	淡い黄色
大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪・波浪・高潮警報発表時（まもなく発表時）	淡い赤色